

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果（富士見市）

調査目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査結果（小学校）

（単位％）

国 語		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		65.0	67.0	65.6
学習指導要領の 内容別平均正答率	言葉の特徴や使い方に関する事項	67.9	70.4	69.0
	話すこと・聞くこと	67.3	68.1	66.2
	書くこと	46.0	49.7	48.5
	読むこと	67.0	68.2	66.6
算 数		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		62.0	64.0	63.2
学習指導要領の 内容別平均正答率	数と計算	67.9	69.9	69.8
	図形	60.6	64.5	64.0
	変化と関係	51.0	51.8	51.3
	データの活用	67.4	69.2	68.7
理 科		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		62.0	65.0	63.3
学習指導要領の 内容別平均正答率	「エネルギー」を柱とする領域	50.3	52.5	51.6
	「粒子」を柱にする領域	58.2	61.6	60.4
	「生命」を柱にする領域	73.8	76.7	75.0
	「地球」を柱にする領域	62.9	65.3	64.6

調査結果（中学校）

（単位％）

国 語		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		69.0	70.0	69.0
学習指導要領の 内容別平均正答率	話すこと・聞くこと	64.0	64.3	63.9
	書くこと	45.7	48.3	46.5
	読むこと	67.7	69.2	67.9
	我が国の言語文化に関する事項	71.3	71.6	70.2

数 学		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		51.0	52.0	51.4
学習指導要領の 内容別平均正答率	数と式	57.5	56.9	57.4
	図形	43.1	44.2	43.6
	関数	42.5	44.3	43.6
	データの活用	58.6	58.2	57.1

理 科		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		47.0	49.0	49.3
学習指導要領の 内容別平均正答率	「エネルギー」を柱とする領域	37.7	41.1	41.9
	「粒子」を柱にする領域	48.5	50.5	50.9
	「生命」を柱にする領域	57.1	57.9	57.9
	「地球」を柱にする領域	43.5	44.1	44.3

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果分析



小学校算数

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

富士見市の現状

- 数量の理解、目的に応じたデータの考察ができています。
- ・目的に応じて数量の関係に着目し、数の処理の仕方を考えることに課題があります。
- ・図形の性質や構成要素を基に、作図の仕方を多様に考えることに課題があります。

【課題が見られた問題①（抜粋）】

（右の図を見て）

Bセットのカップケーキ
 7個分の値段を $1470 \div 3$
 で求めるわけを書くこと
 ができる。



多かった誤答

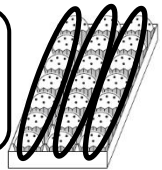
- ①カップケーキが3列あることを表す言葉と数が書かれていない。
- ②1470円を3等分することを表す言葉と数が書かれていない。

【課題解決に向けて①】

- 計算を日常生活の場面で生かすことができる力を身につけましょう。
- ・問題場面の数量に着目し、図をもとにわり算で求められる理由を言葉と数を用いて説明できるようにすることが大切です。
- ・カップケーキ1列分を1単位としてとらえ、1単位が7個で構成されているという視覚的な補助線を入れて数量をとらえることも大切です。

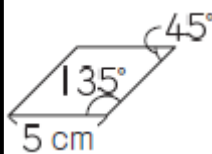


わけを書くときは、大事な言葉や数値に注目することが大事だね！



【課題が見られた問題②（抜粋）】

ひし形をかくためのプログラムについて、適切なプログラムを選択することができる。



多かった誤答



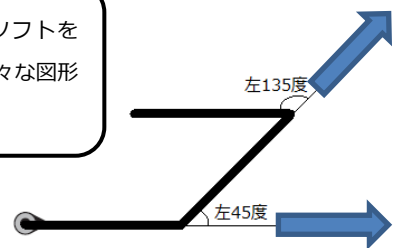
正答



【課題解決に向けて②】

- 作図の仕方を筋道を立てて、考えることができる力を身につけましょう。
- ・ひし形を構成する要素（4つの辺の長さが等しく、2組の向かい合う角の大きさが等しい）に着目することが大切です。
- ・始点から進行方向の左右に何度回転するのか、補助線を使用しながら、考えていくことも大切です。

プログラミングソフトを使って、実際に色々な図形をかいてみよう！



令和4年度 全国学力・学習状況調査結果分析



問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています

<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

小学校理科

富士見市の現状

- 実験の結果から、課題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選んだり、課題のまとめを選んだりする問題の正答率が、全国平均よりも高くなっています。
- ・実験器具の名称や扱い方に関する問題に課題があります。
- ・問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く問題に課題があります。

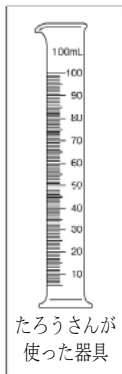
【出題された問題①（抜粋）】

2

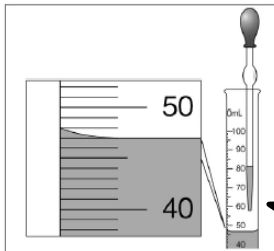
(1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために、水50mLを右のような器具を使ってはかりとることにしました。

たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。

(2) (1)の器具に、次の図のように、50の目盛りよりも下まで水を入れました。50mLの水をはかりとるためには、このあとスポイトでどれだけの水を入れるとよいですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



たろうさんが使った器具



- 1 2 mL
- 2 3 mL
- 3 4 mL
- 4 6 mL

水面の読み取りについて知ろう！

【課題解決に向けて①】

- 目的に応じて器具や機器を選択し、観察、実験などに関する基本的な技能を取得しましょう。
- ・多くの器具の中で、50mLの水を正確にはかり取るという目的に合うメスシリンダーを選択するために、はかり取りたい水の量より少ない水の量を最初に入れる理由や、足りない分の水を入れる際、スポイトの先が水の中に入らないようにする理由について話し合い、確かめ合う学習活動等を取り入れることで、メスシリンダー等の器具や機器に関する基本的な技能を身に付けることができます。



器具や機器の使い方を理解すると、実験や観察が適切に行えるね！

【出題された問題（抜粋）】

3

実験の【結果】は、下の表のようになりました。

【結果】 〈かんの色による水の温度の変化〉

時間	0分	20分後	40分後
かんの色			
黒	24℃	28℃	32℃
赤	24℃	27℃	29℃
青	24℃	27℃	30℃
白	24℃	25℃	26℃



はなこさん

【問題】に対するまとめは、「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

(4) はなこさんが、下線部のようにまとめたわけを上【結果】を使って書きましょう。

【課題解決に向けて②】

- 観察、実験などで得た結果について分析し、より妥当な考えをつくりだす力を身に付けましょう。
- ・実験や観察する際は、結果を事実として捉え、それを結論の根拠として表現できるようにすることが大切です。
- ・例えば、左の問題の「缶の色による水の温度の変化」の実験では、結果として得られた具体的な数値を比較し、その数値を根拠とすることで、「黒色の缶の水の温度が最も高くなる。」という結論を導き出しやすくなります。

実験をするときは、結果を分析することが大切だね！



令和4年度 全国学力・学習状況調査結果分析



中学校数学

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています

<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

富士見市の現状

○箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができています。

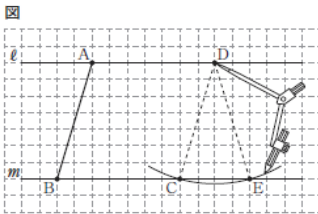
- ・反例の意味を理解することに課題があります。
- ・一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題があります。

【出題された問題①（抜粋）】

3 優真さんは、次の予想がいつでも成り立つかどうかについて考えています。

予想 1組の向かい合う辺が平行で、もう1組の向かい合う辺の長さが等しい四角形ならば、その四角形は平行四辺形である。

上の予想がいつでも成り立つかを、図をかくて考えることにしました。下の図のように、はじめに、平行な2直線 l 、 m 上に3点 A、B、D をとり、線分 AB、AD をかきました。次に、点 D を中心として、線分 AB の長さと同じ半径の円をかいたところ、直線 m と2点 C、E で交わり、平行四辺形になる四角形 ABCD と、平行四辺形にならない四角形 ABED の2つがかけました。



前ページの予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 予想がいつでも成り立つことを示すためには、図のように平行四辺形になる四角形 ABCD が1つかければよい。
- イ 予想がいつでも成り立つことを示すためには、点 A、B、D の位置を変えて、図の平行四角形 ABCD のほかに、平行四辺形になる四角形をかく必要がある。
- ウ 予想がいつでも成り立つとはいえないことを示すためには、図のように平行四辺形にならない四角形 ABED が1つかければよい。
- エ 予想がいつでも成り立つとはいえないことを示すためには、点 A、B、D の位置を変えて、図の四角形 ABED のほかに、平行四辺形にならない四角形をかく必要がある。

【課題解決に向けて①】

- 反例の意味を理解できるようにしましょう。
- ・命題や事柄が成り立つとは限らないことも説明できることが大切です。

予想が成り立つか判断するため、具体例をあげて調べるといいね。



【出題された問題②（抜粋）】

4 下のアからエまでの表は、 y が x の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-11	-7	-3	1	5	9	13	...

イ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

ウ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

エ

x	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
y	...	-7	-4	-1	2	5	8	11	...

【課題解決に向けて②】

- x 、 y の増加量やその割合を調べる活動を通して、変化の割合の意味を理解できるようにしましょう。
- ・変化の割合は x の増加量に対する y の増加量の割合であり、 $\frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$ で求められると理解することが大切です。

変化の割合は x の増加量が1のときの y の増加量であることをとらえることが大切だね。



令和4年度 全国学力・学習状況調査結果分析



中学校理科

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています
<https://www.nier.go.jp/22chousa/22chousa.htm>

富士見市の現状

- 動物の体の基本的なつくりから、共通点や相違点を見いだすことができます。
- ・静電気について、静電気に関する知識を日常生活の動作と関連付けて活用することに課題があります。
- ・実験結果を適切に処理し、グラフを作成することに課題があります。

【出題された問題①】

○タッチパネルは液晶画面と表面の保護ガラスとの間に静電気を発生させている。図のように保護ガラスに手が触れると静電気のように変化し、その変化をセンサーが読み取る。

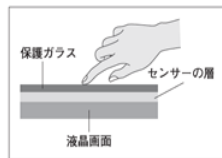


図 タッチパネルの模式図(断面)

【問題】 日常生活の動作の中で、物体が静電気を帯びるものとして適切なものは？

【正解】 プラスチック製のものさしでこする。

【多かった誤答】

- 金属製のドアノブに触れる。

帯電と放電の違いを知ろう！

【課題解決に向けて①】

- 日常生活における帯電や放電の現象を、日常の現象と関連付けて説明できるようにしましょう。
- ・日常生活の動作の中で発生する静電気の性質により引き起こされる現象や、静電気を利用したものを静電気の性質と関連付けて説明できることが大切です。

(例) 静電気が利用されているもの
 複写機、レーザープリンター、空気清浄機
 花粉防止マスク等



日常生活で見られる静電気が関係しているものを見つけよう！

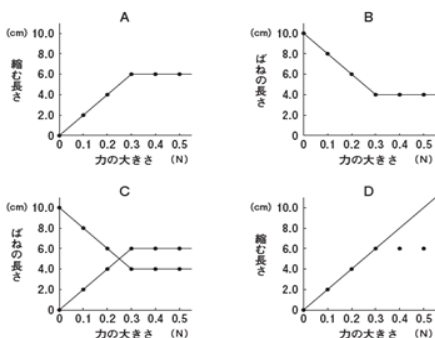
【出題された問題②（抜粋）】

○ばねに加える力の大きさを変化させたときの実験の結果から、最も適したグラフを選びなさい。

【実験の結果】

力の大きさ(N)	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
ばねの長さ(cm)	10.0	8.0	6.0	4.0	4.0	4.0
縮む長さ(cm)	0	2.0	4.0	6.0	6.0	6.0

【考察】 最も適したグラフを、下のAからDまでの中から1つ選びなさい。



【課題解決に向けて②】

- 実験結果を適切に処理し、ばねを押す力の大きさとばねが縮む長さの関係を適切なグラフで表すこと、グラフを作成する技能を身に付けることができるようにしましょう。
- グラフの横軸である「変化させる量」と縦軸である「変化した量」が何に当たるかを考え、グラフを作成するようにしましょう。
- ・実験結果より、このグラフは力の大きさが0.3Nまでは比例であり、力の大きさが0.3N以上になると、ばねの長さや縮む長さの値に変化が表れない点がポイント（グラフは水平）になります。

実験結果を読み取り、どのようにグラフで表すことができるか考えてみよう。





質問紙調査

9割以上の児童生徒が肯定的に回答した項目

(◎は9割以上で、全国よりも高い ○は9割以上)

小学校	中学校
◎国語の勉強は大切だと思いますか。	◎人が困っているときは、進んで助けていますか。
○朝食を毎日食べていますか。	◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	◎朝食を毎日食べていますか。
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	◎国語の勉強は大切だと思いますか。
○友達と協力するのは楽しいですか。	◎国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
○学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。
○国語・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。	○学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。
○算数の勉強は大切だと思いますか。	○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
	○友達と協力するのは楽しいですか。

児童生徒の肯定的な回答が低い項目（5割以下）

小学校	中学校
・新聞を読んでいますか。	・新聞を読んでいますか。
・今住んでいる地域の行事に参加していますか。	・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
・地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか。	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがありますか。

課題解決に向けて

- ・興味があることや疑問に思ったことなどについて本や新聞を使って調べたり、調べたことを記事にして身近な人に読んでもらったりするなど、文章に親しみ、文字や文章表現を身に付けましょう。
- ・テレビのニュースやインターネットの話題が、新聞ではどのように伝えられているのかを比べながら、それぞれの情報手段のよさを見つけてみましょう。
- ・地域の人々と関わり合ったり、地域の自然や歴史に触れたりすることを通して、埼玉県や富士見市のよさを感じ取り、自分の力をよりよい地域づくりに活かすためには何ができるかを考えてみましょう。